

登録コード	TT210400	開講年度	2026					
授業科目	建築学概論					担当教員	羽藤 広輔	
英文授業名	Introduction to Architecture					副担当	寺内 美紀子・松田 昌洋・高村 秀紀・中谷 岳史 ・梅干野 成央・遠藤 洋平	
単位数	1	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	工学科 1 年生
講義室				授業形態	講義	遠隔授業科目	該当	備考
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					【授業の達成目標】		
	2 6 Tカリ							
	【26T～】共通教育による幅広い教養と，工学の専門分野における基礎学力が身についている。					建築学に関する基礎的な知識が理解できている。		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、環境共生、防災減災							
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース							
(4)授業の概要	建築の歴史意匠・計画、環境・設備、構造・防災の各分野を学びつつ、これらを総合することで工学と建築学との関係についての理解を深める。							
(5)授業計画	建築に関する次の8つのテーマを順に講義する。 第 1 回：くらしと建築 第 2 回：建築の構造 第 3 回：建築の歴史 第 4 回：家具と建築 第 5 回：気候変動と建築 第 6 回：省エネルギーと建築 第 7 回：地震と建築 第 8 回：まとめ―工学における建築学のこれから							
(6)成績評価の方法	各回に出題するレポート課題の点数を総合し、基本的内容を理解したと認められる者について単位を認定する。							
(7)成績評価の基準	レポート課題で評価する。基本的に90-100点を秀、80-89点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。 各テーマの基本内容を理解していれば「水準にある」（可）、やや広く理解していれば「やや上にある」（良）、広く理解していれば「かなり上にある」（優）、全てのテーマにわたり理解していれば「卓越している」（秀）とする。							
(8)事前事後学習の内容								
(9)履修上の注意	eALPS上の資料をよく確認してください。							
(10)質問,相談への対応	メールにて受け付ける。 アドレスはkhato@shinshu-u.ac.jp（羽藤）							
(11)その他								
【教科書】	指定しない							
【参考書】	・ 柏木博・松葉一清：デザイン／近代建築史、鹿島出版会（2,500円＋税） ・ 斎藤公男：新しい建築のみかた、エクスナレッジ（2,400円＋税）							